



やなぎっ子

あなたの金メダルは？

校長 五十嵐 公明

賛否両論の様々な課題を乗り越えた東京オリンピックですが、心・技・体を全開にして競い合う姿は美しく、私たちが心から感動させてくれました。日本は、全競技数33種目で史上最多の58個のメダルを獲得しました。期待された結果が得られなかった選手、期待以上の結果が得られた選手、様々なドラマが生まれました。また、人のため、チームのために発揮する力は、個人のレベルを超えろという人間の可能性の奥深さを熱く再認識させてくれました。チーム力、組織力が改めて注目される中、様々な臨機応変なすばらしいエピソードが、学校教育にも良い影響を与えてくれる雰囲気を感じました。

<エピソード1>

東京五輪で競技会場に向かうバスを乗り間違えたハンスル・パーチメント選手（ジャマイカ）に大会ボランティアの河島ティヤナさんがタクシー代（1万円）を渡し国立競技場に向かうのを手助けし、男子110メートルハードルで金メダルを獲得する手伝いをした。

<エピソード2>

東京五輪の陸上・女子やり投げで銀メダルを獲得したマリア・アンドレイチェク選手（ポーランド）は、幼いポーランド人の少年の心臓手術費を工面するため、自分のメダルをオークションに出した。その後、競り落とした会社は、マリア・アンドレイチェク選手にメダルを返還し、不足の手術費用（2千万円）を提供することを決断したと報道があった。

どちらの話も東京五輪で「優しさの種目」があったら間違いなく金メダルですね。今後のパラリンピックでも世界中の優しさの金メダルを期待しています。

さて、本日36日間の夏休みを過ごし元気に登校してきた子どもたちと再開できたことを心から嬉しく思います。コロナ禍の中、昨年続き思いっきり思い出づくりができなかったとは思いますが、この夏休み、一番楽しかったこと、素晴らしかったことを貴方の金メダルとして大切な思い出にしてほしいと思います。

埼玉県緊急事態宣言は9月12日（日）に解除される予定です。現在、9月25日（土）には運動会（午前中のみ）、10月14・15日は修学旅行が予定されています。しかし、今後の感染状況によっては内容の変更や延期など、柔軟に対応しなければなりません。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。残暑が厳しい折、皆様もどうかお体を御自愛ください。